

2009年 No.13
JULY .24

vol.371

第2・第4金曜日発行
<http://www.sohjusha.co.jp>

平成6年9月9日第3種郵便物認可 第2・4金曜日発行 通巻371号 平成21年7月24日発行

<http://www.sohjusha.co.jp>

住生活産業総合情報誌

Today for Tomorrow Housing Tribune

ハウジング トリビューン

白書に見る

高齢者、子ども、地球環境、家計、暮らし、住まいの今、を探る

住まいと暮らしの実像

高齢者住まい法の改正、8月施行へ
高齢化時代の新たな“終の棲家”が求められる

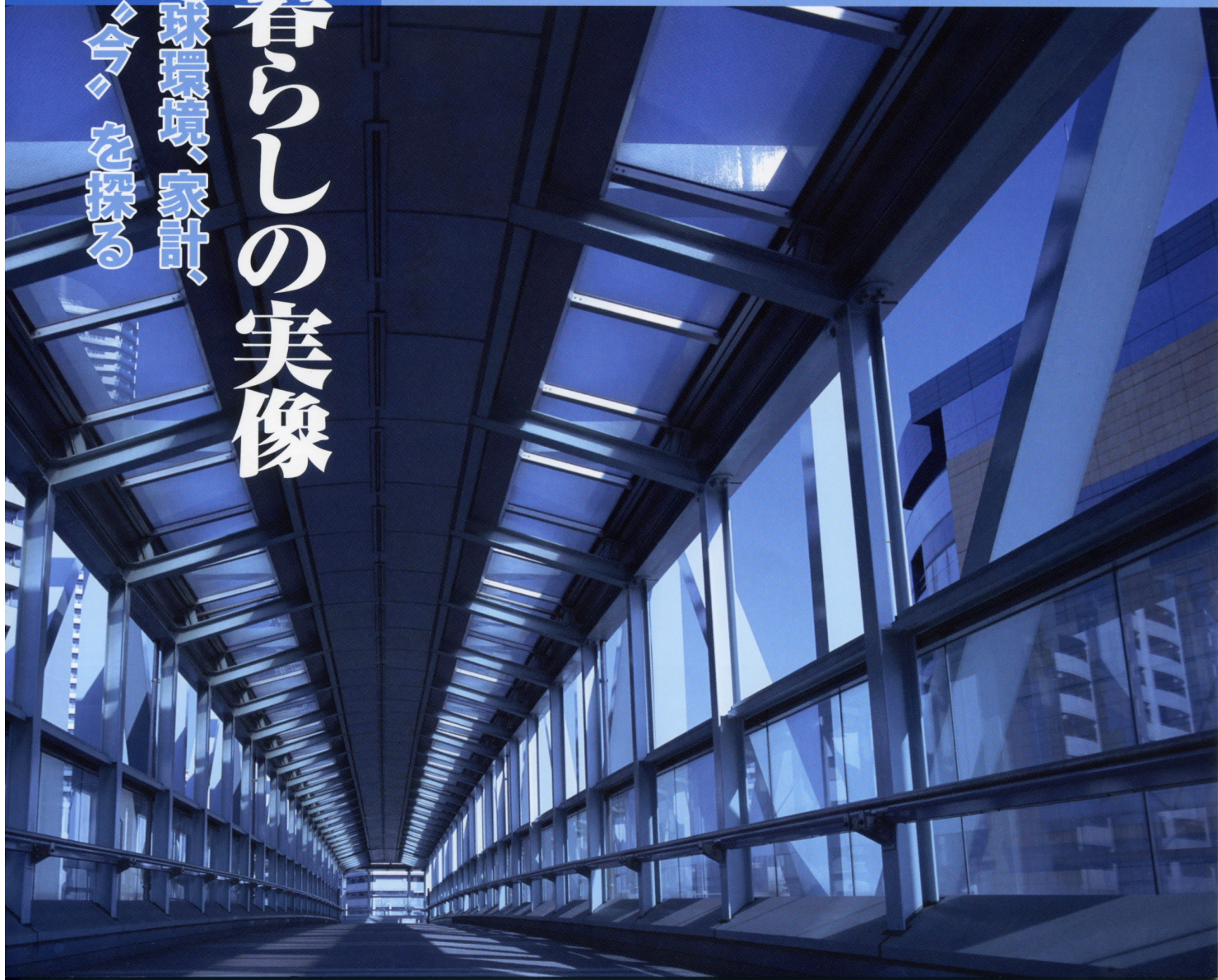
着工後でも瑕疵保険の加入が可能に
法施行後のセーフティネットとして期間限定で実施

LED照明がいよいよ家庭にも普及へ
新たな照明提案の突破口に

新・住まい学 生涯学習とまちづくり①
聖心女子大学 澤野由紀子 教授

ハウジング・ラボ
お茶の水女子大学「Ocha House」
生活とコンピューターの融合を目指す

緑化・環境建築
植物工場は住宅産業のニュービジネスになるのか!?



お茶の水女子大学 Ocha House(ユビキタス・コンピューティング実験住宅)

ユビキタス・コンピューティング実験住宅 「Ocha House」が完成

生活とコンピューターを融合する 多種多様な研究が進行中

お茶の水女子大学がユビキタス・コンピューティング実験住宅、Ocha Houseを建築した。ユビキタス社会に求められる住宅の姿を検討し、形にしたものだ。生活とコンピューターの融合を目指し、様々な分野の研究者が実証実験をスタートさせた。

Ocha Houseは、お茶の水女子大学が行っているユビキタス・コンピューティング研究の一環として建てられた実験住宅だ。同大学に隣接する職員住宅跡地に建設され、今年の3月18日に竣工した。

年々小型化・低価格化するコンピューターを住まいに組み込むことで、いかに生活を豊かにできるかを研究する。まずユビキタス社会に適した住宅を設計・建築し、その中で様々なアプリケーションの実験を行っていく。

新工法で設備機器の 容易な更新が可能

Ocha Houseを設計したのは同大学大学院人間文化創成科学研究科の元岡展久准教授。日進月歩の技術革新に応じて、住宅に組み込まれた設備機器の更新が容易にできるよう設計した。

基本的にはスケルトン・インフィルの考え方に基づいているが、特徴的なのがインフィルの捉え方だ。住まい手のライフスタイルに合わせて変更する内装と、技術革新に合わせて更新するコンピューターや関連機

器という2つのインフィルを設けている。

日本の住宅の中心は木造住宅のため、実験住宅も木造を採用。また、間伐材の利用促進のため、間伐材を材料とするパネルを躯体の材料にした。国産の杉材を3層に重ねたパネル、Jパネルを柱状に加工しフレーム状に組み立てて、ラーメン構造体とする「Jパネル3層フレーム構造」を開発し、採用している。

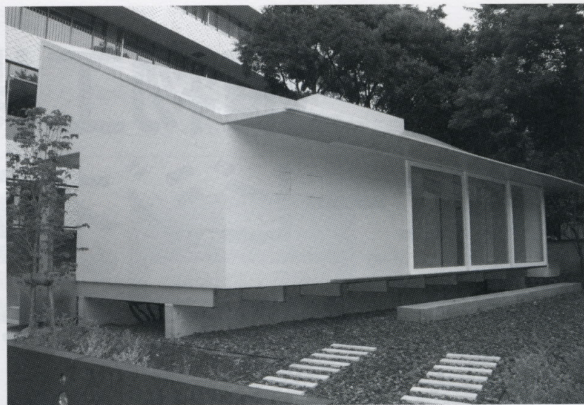
この工法により、全体を包み込むような広い大空間を確保できる。間柱も耐力壁も不要のため、自由な内部設計が可能だ。敷地対応力にも優れている。

その他にも様々な工夫を施している。例えばフレームには溝が掘ってあり、床下から天井までの配線を収納できる。建物を基礎から浮かせ、床下に設置する機器の更新やメンテナンスを容易にしているのも特徴のひとつ。空間を有効に利用するために、サーバーなどの大きい機器の本体を小屋裏や床下に設置することを想定して、床下空間を活用したというわけだ。

Ocha Houseは延床面積



建設中のOcha House。パネルをフレーム状にして並べている



Ocha Houseの外観。木造1階建て、延床面積90㎡



電腦化粧鏡で化粧をする様子



「タグタンス」で撮影した画像は、上の写真のようにデータベース化される

90平方メートルの1階建てだが、工法としては2階建てにも対応できるという。

暮らしが便利に、楽しく

竣工後、Ocha Houseはユビキタス・コンピューティングに関する様々な実証実験に利用していく。現在は、情報系の研究者がネットワークセキュリティの実験を、福祉工学の専門家が「高齢者転倒防止デバイス」の実験を行っている。

またコンピューターを組み込んだ生活用品も多数運び入れ、テストしている。

例えば、持っている洋服をデータベース化してくれるクローゼット「タグタンス」がある。観音開きのクローゼットの、片方の扉の内側にカメラと照明を取り付け、もう一方の扉にはセンサー付きフックを付ける。扉を開けて向かい合わせにし、洋服をフックに掛けるだけで自動的に撮影を行い、データベース化してくれる。所有している洋服を把握でき、外出のとき、着ていきたい洋服をすぐに選べるすぐれものだ。また、

インターネットオークションに出品する際にも画像を利用できる。

また、化粧を支援する電腦化粧鏡の設置もユニーク。パソコンの周囲にカメラを複数搭載し、コンピューターで制御する。使用者は、自分が映ったパソコンの画面を見ながら化粧をする。

普通の鏡に姿を映すと左右が反転してしまうが、電腦化粧鏡では人に見えるのと同様の姿を映せるリバーサルミラーとして使用できる。また、データを保存しておけば、化粧品を変えた時にどのように変化したか比較することが可能だ。横や斜め後ろなど、様々な角度を確認できる。

目元、口元など、細かい作業が必要な時には、コンピューターが自動でズームを行う。顔を近づけるとさらに拡大できる。メイクには、手で色をばかす等の作業もあるため、触れずに操作ができるようにした。

Ocha Houseでは、これから様々なコンピューター機器を取り入れた実証実験を行う予定だ。加えて、夏以降には実際に1、2週間滞在し、機器を使ってもらおう実証実験も予定している。

料理のコツは、
季節を取り入れること。



www.ykkap.co.jp

窓を考える会社 YKK AP

雑誌83591-13



4910835911395
01190